

公益財団法人 武田太加志記念能楽振興財団

令和4年度 第7期 事業報告

令和4年7月1日～令和5年6月30日

1、能楽公演事業

- (1) 花影会 第52回 令和4年10月29日(日) 262名来場 於)観世能楽堂
(実売及び招待計281名)
第53回 令和5年4月16日(日) 458名来場 於)観世能楽堂
(実売及び招待計484名)
- (2) 謡初め 令和5年1月4日(火) 23名 於)武田修能館

2、玄人研修事業

- (1) 稽古能 コロナ禍により非開催
- (2) 能面・能装束の研修 5、6月1回ずつ 計2回開催

3、普及啓蒙事業

- (1) 学生向けワークショップ
- ①実施：令和4年12月20日(火)中野区立塔ノ山小学校 (於：武田修能館)
- 第1回 186名 (1～2年生)
第2回 174名 (3～4年生)
第3回 151名 (5～6年生)
- ②実施：令和5年3月7日(火)杉並区松溪中学校 112名 (於：松溪中学校)
- (2) 能+〇〇 [茶道] 令和4年7月12日(火) 27名 於)武田修能館
〃 令和4年9月27日(火) 22名 於)武田修能館
〃 令和4年11月29日(火) 10名 於)武田修能館
[バレエ]令和5年3月9日(木) 25名 於)武田修能館
- (3) 能面講座 令和4年7月2日(土) 11名 於)武田修能館
令和4年9月21日(水) 18名 於)武田修能館
令和4年11月21日(月) 5名 於)武田修能館
令和5年3月29日(水) 14名 於)武田修能館

(4) 復興支援事業

熊本地震復興支援事業 能楽講座

①実施

- 1/25(水)湧心館高校 1-3年生 200名(熊本市中央区出水4-1-2)
西合志東小学校 6年生 146名(合志市須屋2948)
- 1/26(木)菊池市立菊之池小学校 5,6年 101名(菊池市西寺1928)
筑紫女学園大学 41名(福岡県太宰府市石坂2-12-1)
- 1/27(金)合志市立西合志中央小学校 6年生 126名(合志市野々島4832)
山鹿市立大道小学校 5,6年 80名(八千代座：山鹿市山鹿1499)

4、面装束管理事業

- (1) 能面、能装束の貸し出し
- (2) 能面、能装束の修繕 随時
- (3) 虫干し 令和4年8月10日(水)36名
11日(祝)54名
12日(金)27名

5、修能館管理事業

- (1) 武田修能館の貸し出し
- (2) 武田修能館の維持管理 随時

会議開催

- 平成4年 8月31日 第16回理事会
9月18日 第12回評議員会
9月26日 第17回理事会
6月5日 第18回理事会
6月20日 第13回評議員会

その他

この5月に漸く五類へ移行したものの、3年前より引き続く新型コロナウイルス感染症の流行による影響を大きく受けた1年となった。特に昨秋・第52回花影会(10月)開催は、感染拡大時期と重なり、招待を含めて席数の5割程度の集客に止まった。逆に五類移行が見えた53回(4月)は、主にシテの販売協力も大きく、コロナ禍における最高の数字まで伸びた。

普及事業のうち、「能+〇〇」及び「能面能装束講座」は予定通り4回ずつの開催。「能+〇〇」においては、情勢から見ると集客については一定の成果があった。一方、能面能装束講座については、集客数が伸び悩んだ結果となった。夏季「虫干し」は、やはり感染拡大時期と重なり、見込みの6割程度の来場者数となった。

また近年最も打撃が大きい両管理(貸出)事業については、前提として昨年7月より事業年度を変更した関係で、昨年度は期間が短く(8カ月間)、単純な数字の比較は難しい。能面・能装束の貸し出しは減少傾向、コロナ禍前には遠く及ばず。武田修能館の貸し出しは、感染予防対策等の成果もあり、稼働率及び収益共に昨年並み。

全体としては、各種助成金の減少もあり、前年度より大幅な減少傾向となった。

なお、情勢に合わせた感染防止対策の為、事務局を一定期間閉鎖し、また相応の月日を〈人数制限〉等を付けた変則営業とした。

以上

事業報告の附属明細書①「能面、能装束の貸し出し」別紙
事業報告の附属明細書②「武田修能館の貸し出し」別紙